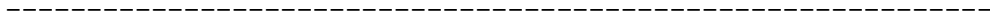




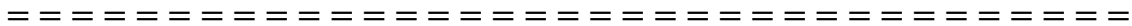
| 温カナ！news | 第 23 号 | 2025 年 3 月 14 日 |



| 発行 | 神奈川県環境農政局脱炭素戦略本部室



メールマガジン「温カナ！news」は、脱炭素社会の実現に向けて、
脱炭素につながる取組を広めていくことを目指して、かながわ地球温暖化
防止活動支援コーナーが配信しています。



<かながわ環境大使（白井貴子）コラム>

★ 「かながわ環境大使」白井貴子さんからのメッセージ ★

神奈川県では、本県にゆかりのある著名人に地球環境保全の大切さを発信してい
ただくため、「かながわ環境大使」として、藤沢市出身のアーティスト 白井貴子
さんに就任していただいています。

今号では、白井貴子さんから県民の皆さんにメッセージをいただきました。

～白井貴子 環境コラム（第 23 回）

「エシカルファッションで GO！」

2025 年の三寒四温はいつになく厳しいように思えます。

自然の力はほんとに凄いですね。

私は昨年 10 月から今年 2 月まで京都佛立ミュージアムで開催した

「母 TSUNAGU 未来展 2」延べ 3000 人の皆さんにお越しいただき、

Mama ハンドメイドの私が生まれた時の産着や子供服、80 年代ロックの

女王時代を支えてくれた衣装、長年大切にしてきた世界、約 200 点を

「Rock Queen の宝物」というサブタイトルで展示。

会期中、実際に「金継ぎ」や生ごみをゼロにする箱「バクテリア de キエーロ」

のワークショップも葉山より生みの親の松本さんにお越しいただき開催！

ラッキーにも、その間に横浜と大阪でライブがあったので、展示していた

80 年代の衣装を「母 TSUNAGU 未来」の心で新しい服とミックスチャーし

エシカルファッションで The CRAZY BOYS のみんなで懐かしい楽曲を

歌いました。

「白井さん！よくここまで保存していましたね！」と驚かれたり「失くして
しまった世界に懐かしさが込み上げてきました」と涙をこらえながら感想を
いただき、私もうれし涙。

経済優先の現代は「即結果」「新しさ」を求められることが多いですが、

長年、私なりの物差し、価値観で大切にしてきた手作りの世界を、沢山の皆さんに見ていただき心より感謝しています。
願わくば我がふるさと神奈川県でも開催したいと思っています。

個展の最終コーナーは「ありがとう母なる大地」と題して 10R コーナー
「もう 3R だけでは間に合わない！」というメッセージで展示。

最後の最後は、私が 80 年代、大阪のラジオ番組「ヤンタン」を卒業する時、スタジオの片隅のダンボールに破棄されているのを見つけもってきたシングルレコードを展示しました。

これは決してヤンタンだけが悪いのではなく、きっとあの時代、世界中のラジオ局が「ヒットしてもしなくても 3 ヶ月したら機械的に破棄」していたのだと思います。でも私にとっては音楽は「心の糧」それを捨てるなんてとてもできませんでした。そしてその果てに音楽はジャケットとして抱きしめることができなくなりました。

あの 80 年代、私もその時代の動きに従い、3 ヶ月に一度シングルを出し、1 年に一度「アルバム」をリリースする DUTY WORK に心身共にボロボロになり「これは生身の人間 30 歳過ぎたら特に女子は無理！」と気づきロンドンへ移住、その後一時帰国した時、神奈川の実家で生まれた曲が「野生のマーガレット」です。

実は、この 2 回目の個展は私が生まれてから、ロンドンに移住する前までのお話。

次の個展は「野生のマーガレット」後の私のエコライフのお話を予定しています。

エシカルとは「倫理的」という意味だそう。

今、地球に巻き起こっている世界はとてもエシカルとは思えない真逆で悲しいことばかり。

だからこそ！みんなで「エシカルに GO!」命を大切に頑張りましょう！

～ 白井貴子さんプロフィール ～

- 神奈川県藤沢市出身
- 1981 年デビュー、女性ポップロックシンガーの先駆者的存在
- 2001 年神奈川県の合唱曲「ふるさとの風になりたい」を作曲
- 2010 年第 61 回神奈川県全国植樹祭テーマソング「森へ行こう！」リリース
- 2012 年 NP0 法人鶴見川流域ネットワークの皆さんとの活動とのテーマソング「マッカチ・カニカニ音頭」リリース
- エコロジックな生活を実践し、全国各地で環境に関する講演やイベント出演を行う。

かながわ環境大使について

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/cnt/f160341/index.html>

白井貴子さん公式ホームページ

<http://www.takako-shirai.jp/index2.html>

=====

<ニュース>

◆「かながわ脱炭素アクションフォーラム」アーカイブ動画を公開中！

1月11日（土曜日）に神奈川県が実施した「かながわ脱炭素アクションフォーラム」のアーカイブ動画をYouTubeの県公式チャンネル「かなチャンTVサブチャンネル」に公開しています。

ぜひ、下記URLからご覧ください。

【アーカイブ動画公開ページ URL】

1 オープニングステージ

<https://www.youtube.com/watch?v=jZaUifD42aw>

2 事例報告

<https://www.youtube.com/watch?v=CibXwTy3ThQ>

3 脱炭素セミナー

https://www.youtube.com/watch?v=H_K8cuU1ZMM

4 基調講演

<https://www.youtube.com/watch?v=FpRhsytfPA8>

5 パネルディスカッション

<https://www.youtube.com/watch?v=m2K0EBXC0kQ>

6 第1回かながわ脱炭素大賞表彰式

<https://www.youtube.com/watch?v=dwiB0gy4gqE>

イベント詳細は県HPをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/2024forum.html>

◆首都圏再エネ電力共同オークションについて

神奈川県では、環境にやさしい再生可能エネルギー由来の電力を利用したい企業・団体の皆様を募り、まとめて再エネ電力調達のための入札を行う「首都圏再エネ電力共同オークション」（せり下げ方式入札）を実施しています。共同で入札を行うことで、再エネ電力に、簡単に、お安く、契約切替できます。入札に係る費用は無料ですので、ぜひ御参加について、ご検討ください！

参加企業募集期間：令和 7 年 3 月 31 日（月曜日）まで

参加費：無料（申込から入札まで）

対象：首都圏内に拠点（本社、支社、事業所等）がある企業・団体

業種、事業規模は問いません。再エネ電力利用に伴う特別な工事は不要です。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f7600/saieneauktion-joint.html>

◆CO2 排出量管理システムの導入に取り組む事業者公募

神奈川県は、連携して CO2 排出量管理システムの導入促進に取り組む事業者を公募します。このシステムは電気料金の請求書などに記載された電力使用量等のデータを入力することにより、CO2 など温室効果ガス排出量を自動的に計算し、見える化するとともに、削減目標の設定なども行うクラウドサービス等で、脱炭素化に向けた現状の把握や CO2 削減対策の検討につながります。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/prs/r3912364.html>

◆環境省、地球温暖化対策計画を改定

政府は地球温暖化対策計画の改定を閣議決定しました。新しい計画では、温室効果ガスを 2013 年度比で 2035 年には 60%、2040 年度には 73%それぞれ削減することを目指しています。

<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/keikaku/250218.html>

◆資源エネルギー庁、第 7 次エネルギー基本計画策定

政府は第 7 次エネルギー基本計画を閣議決定しました。この計画によると、2040 年度時点の各電源の割合は、原子力は 2 割程度へ、太陽光や水力などの再生可能エネルギーが 4 ～ 5 割程度へそれぞれ増加し、火力は 3 ～ 4 割程度へ大幅に減少を見通しています。

https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic_plan/

◆川崎市、「メルカリ Shops」を開設し、庁内物品をリユースします！

川崎市では、株式会社メルカリの協力のもと、不用となった庁内物品を販売するサイトとなる川崎市「メルカリ Shops」を開設しました。今後庁内で不用となった物品全般についても本取組を広げ、循環型社会の形成につながる取組を進めていきます。

<https://www.city.kawasaki.jp/760/page/0000173883.html>

◆2024 年の新規風力発電導入量（速報値）は 703.3MW（170 基）

（一社）日本風力発電協会が 2024 年 12 月時点における国内風力発電導入実績量（速報値）を取りまとめた結果、新規導入量は全国 23 サイトで 703.3MW（170 基）でした。一方、撤去したサイトを差し引いた正味導入量は、663.0MW（120 基）となり、累積導入量は 5,840.4MW（2,720 基）に達しました。

<https://jwpa.jp/information/11062/>

◆東北大学、2023 年以降で三陸沖での水温上昇は世界で過去最大と発表

東北大学は、三陸沖の海水温上昇が近年顕著となり、最近の約 1 年間は海面水温が平年よりも約 6℃高い状態にあることを発見しました。原因は、三陸沖の黒潮続流が北向きの進路を取り始めたことによります。

https://www.tohoku.ac.jp/japanese/newimg/pressing/tohokuuniv-press20250214_04_kuroshio.pdf

◆木質バイオマスを原料とするバイオエタノール等の生産へ

日本製紙、住友商事および Green Earth Institute は合併で、製材端材などの東北地域の持続可能な森林資源を原料として 2027 年から年産 1,000kL 以上のバイオエタノールを製造し、持続可能な航空燃料（ASF）の本格的な導入と普及が見込まれる 2030 年頃には航空燃料用として年産数万 kL 以上の製造を目指します。

<https://www.nipponpapergroup.com/news/year/2025/news250217005830.html>

◆BASF ジャパンと NEWGREEN、水稻栽培におけるメタン排出量の削減を支援するプロジェクトの戦略的提携と共同出資に合意

メタンガスは CO2 より約 25 倍高い温室効果ガスですが、水稻栽培によって、発生するメタンガスは日本のメタン排出量の約 40%を占めるとされています。BASF ジャパン株式会社と株式会社 NEWGREEN は、水稻生産者が水の使用量とメタン生成を削減する技術を使用して、栽培におけるメタン排出量を削減することを支援し、環境負荷削減に取り組む農業者に経済的な利益を提供することを目指します。

<https://www.basf.com/jp/ja/media/news-releases/jp/2025/2/BASF-and-NEWGREEN-agree-to-strategic-alliance-and-co-investment-in-the-NEWGREEN-RICE-Project--a-joint-project-to-realize-a-carbon-farming-program-for-rice-paddy-cultivation>

<イベント>

※天候や主催者側の都合等により、イベントが中止になる場合もありますので、イベント実施の有無については、各イベントのホームページまで随時御確認ください。

◆【開催間近】令和6年度気候変動適応全国大会

日時：1日目：3月18日（火曜日）13時～17時

2日目：3月19日（水曜日）10時～17時

場所：オンライン開催

主催：環境省

https://www.env.go.jp/press/press_04460.html

◆【開催間近】JCM活用による脱炭素投資セミナー及び個別相談会

日時：3月19日（水曜日）13時～15時

場所：日比谷国際ビルコンファレンススクエア 8F 及びオンライン開催

主催：環境省、（公財）地球環境センター

共催：経済産業省

https://gec.jp/jcm/jp/news/jcm2024symposium_info/

◆「CCS 国際シンポジウム」～社会実装の一層の推進に向けて～

日時：1日目：3月25日（火曜日）13時30分～17時10分

2日目：3月26日（水曜日）10時～14時30分

場所：オンライン開催

使用言語：日本語、英語（同時通訳有）

主催：環境省

参加申込み：事前登録性（先着順）※参加登録ページから

https://www.env.go.jp/press/press_04435.html

◆「二酸化炭素除去技術 CDR の課題と可能性～「1.5℃目標」達成に向けて」

※本メールマガジンは、かながわ地球温暖化防止活動支援コーナー（温力ナ！コーナー）が配信しています。

